

仏教經典成立史論

望月信亨著

法
藏
館

Shaw 21

蓋し上述の燉煌出土等の諸經は各皆經の體裁を備へ、一經として存してゐるのであるが、然るに此等の外に全經は既に失はれたけれど、その一文一章が他書に摘録せられて今日に傳つてゐるものが尙ほ少くない。即ち梁僧旻及び寶唱等の撰集に係る經律異相五十卷、唐道世の諸經要集二十卷、并に法苑珠林一百卷中に援引せる多數の異經を始め、弘明集第十三所收の郗嘉寶の奉法要、出三藏記集第十二法苑雜緣原始集目錄、後周道安の二教論、唐道綽の安樂集、善導の觀念法門、往生禮讚、法琳の破邪論、辯正論、法藏の梵網菩薩戒本疏等に引用せる幾多の藏外の經文がそれである。この事は先年刊行した拙著「佛教史の諸研究」中に古佚經の遺文と題して表示して置いたのであるが、その數は異經抄經及び疑偽等總じて二百四十餘部の多きに上るのである。此の中には上記燉煌出土等にも傳へないものがあり、その遺文は貴重するに足るのである。今開元錄所載の疑惑及び偽妄を始めとし、奈良朝現在一切經疏目錄已下に掲ぐる異經及び疑偽經を更に左に表示して見やう。

異經及疑偽經表

經名	作者	三藏記	法經錄	開元錄	奈良錄	所載	引文
寶如來三昧經	南海胡	安疑經	偽妄	入藏	年不詳	大正一五	
定行三昧經(摩訶目連所問經)		安疑經	疑惑	偽妄			
眞諦比丘慧明經(清淨眞諦經)		安疑經	疑惑	偽妄			
尼吒黃羅國王經(黃羅王經)		安疑經	偽妄	偽妄			經律五
胸有萬字經(胸現萬字經)		安疑經	疑惑	偽妄			
國王薩和菩薩經(國一切度經)		安疑經	偽妄	偽妄			經律三、三八
善信女經(善信菩薩二十四戒經)		安疑經	疑惑	偽妄	天平二〇		
護身十二妙經(度世護世經)		安疑經	偽妄	偽妄			
度護法經		安疑經	疑惑	偽妄			
毘羅三昧經		安疑經	疑惑	偽妄	天平二〇		要集五、珠林四二
善王皇帝功德尊經		安疑經	疑惑	偽妄			安樂集下
惟務三昧經(惟無三昧經)		安疑經	疑惑	偽妄			
相國阿羅呵公經		安疑經	疑惑	偽妄	天平二〇		要集一九、安樂集下
禪定普遍國土神通菩薩經		安疑經	疑惑	偽妄			
陰馬滅光明經		安疑經	疑惑	偽妄			

目連問經
 小法滅盡經
 鳴鐘經
 持戒法經
 金錚決口經
 地獄經
 優鉢祇王經
 九傷經
 七佛各說偈經
 深自知身偈經
 金剛藏經
 隨葉佛說須菩提經
 造天地經(造立天地經)
 疾烈園經
 墮落優婆塞經
 銀蹄金角犢子經(孝順子應變破惡業修行經)

失譯
 失譯
 失譯

偽妄
 偽妄

天平一〇
 天平二〇
 天平二〇

大正八五(總)
 經律六、要集三

珠林四九
 珠林九四、要集二〇

法苑珠林上、卷正三、五、八、
 寶樹經三

後母經
 諸佛下生大法王經
 法句經
 罪福決疑經
 大乘般若五辛經
 最妙初教經
 罪報經
 日輪供養經
 乳光經
 福田報應經
 寶印經
 究竟大悲經
 諸佛下生經
 善惡因果經
 內三十七品經
 戒正信邪經

偽妄
 偽妄

天平二〇
 天平二〇
 天平五

大正八五(總)

要集八、一四

珠林八六

大正八五(總)

要集一四

大正八五(總)

達空道士分別善惡度苦經

老子教人服藥修常住經

佛道定行經

決定要慧經

須彌像圖山經

滿子經

法王經(涅槃般若波羅蜜經)

決疑經

不死經

大辯邪正法門經

佛性海藏智慧解脫破心相經

心王菩薩說頭陀經

新像法決疑經

護身經

勝德長者所問菩薩觀行經

內天兄弟五人得天品經

辯正論五

偽妄

大正八五(燬)

大正八五(燬)

大正八五(燬)

大正八五(燬)

天平一二

反流盡源經

師子鳩摩羅所問經

大方廣不誹佛經

本事經

無量門淨除三障陀羅尼經

三昧經童子菩薩四重問品

天地闔像經

大乘無盡藏經

梵天王經

側土經

彌勒下山經

聖水經

彌勒下生救度苦厄經

菩薩決定經

新觀世音經

延年益壽經(延壽經)

天平一〇
天平五

大正八五(燬)

賢者五戒經	失譯	天平五	
三障懺悔經	失譯	天平二	
懺悔經	失譯	天平一五	
菩薩警喻經	失譯	天平一四	
菩薩度人譬喻如巧乳母經	失譯	天平一四	
毘奈耶經	失譯	天平二〇	
比神經	失譯	天平一八	
法勤經	失譯	天平一四	
分界經	失譯	天平九	
雜釋虛空藏經	失譯	年不詳	
十方五王經	失譯	年不詳	
鑿梨經	失譯	神護三	
支條經	失譯	年不詳	
壽延經(延壽經?)	失譯	年不詳	
觀世音祕密無障礙如意輪陀羅尼 薩談經	失譯	年不詳	
集法悅捨苦陀羅尼經	別生	天平一五	知恩院

八菩薩四弘誓經	藏川		
大明 ^經 菩薩 ^經 後 ^經 菩薩 ^經 第一 ^經 希有 ^經	藏川		
大功德經		失譯	
無量壽佛名號利益大事因緣經			天平一〇
觀世音菩薩往生淨土本緣經			八家藏錄上
念佛超脫輪迴捷徑經			續藏 一
斷淫經			續藏 八七
地藏菩薩發心因緣十王經			續藏 八七
預修十往生七經			續藏 乙 二三
大藏正教血盆經			續藏 乙 二三
壽生經			續藏 八七
化珠保命真經			續藏 八七
大梵天王問佛決疑經			續藏 八七
觀世音菩薩救苦經			續藏 八七
妙法蓮華三昧祕密三摩耶經			續藏 八七
阿彌陀佛根本祕密神呪經			續藏 八七
十方千五百佛名經			續藏 三

呪魅經	大正八五(燉)
妙法蓮華經馬明菩薩品第二十	大正八五(燉)
法句經(一卷本)	大正八五(燉)
地藏菩薩經	大正八五(燉)
金有陀羅尼經	大正八五(燉)
讚僧功德經	大正八五(燉)
七女觀經	大正八五(燉)
救諸衆生一切苦難經	大正八五(燉)
勸善經	大正八五(燉)
新菩薩經	大正八五(燉)
釋家觀化邊愚經	大正八五(燉)
佛母經	大正八五(燉)
僧伽和尚欲入涅槃說六度經	大正八五(燉)
四諦法門經	大正八五(燉)
解百緣家陀羅尼經	大正八五(燉)
閻羅王受記經	燉煌本(北京)
	燉煌本(倫敦)
	燉煌本(不折)

一切功德積聚經	燉煌本(不折)
讚禮地藏王菩薩懺悔願經	燉煌本(北京)
比丘十變經	燉煌本(倫敦)

四

支那に於ける疑偽經が種種の動機の下に製作されたことは上に一言した所であるが、その中、道儒二教、特に道教關係のものが甚だ多い。清淨法行經は出三藏記集第四失譯雜經錄中に列ねてあるのであるが、その中には佛は摩訶迦葉を震旦に遣して老子となし、光淨菩薩(或は儒童菩薩)を遣して孔子となし、月光菩薩(或は光淨菩薩)を遣して顔回としたのだといふ説を掲げてゐる。これは一般に西晉祭酒王浮が妄作した老子化胡經に對する佛教側の應酬と見られて來たのであるが、然るに北周甄鸞の笑道論(廣弘明集第九所載)に引用せる老子化胡經に、「迦葉菩薩云、如來滅後五百歲、吾來東遊以道授韓平子、白日升天。又二百年以道授張陵」と記してゐるのに依ると、老子を迦葉の再誕とするの説は化胡經已前より行はれたことを知るべきである。又老子化胡の説も王浮が始めて唱へたものではなく、後漢書第三十下襄楷列傳に載する後漢桓帝延熹九年(一六六)の楷の上表文中に「或言、老子入夷狄爲浮屠」といひ、又三國志魏書第三十の註に引ける魏略にも、「浮